

問1 地球温暖化対策の観点から、ブラジルなどでバイオ燃料の利用が推進されている理由として最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 和歌山県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. さとうきびやとうもろこしを燃料として利用することで、大気中の窒素を酸素に変換し、オゾン層を保護する効果が得られるため。 | 2. 植物は成長過程で二酸化炭素を吸収するため、燃焼時に二酸化炭素を排出しても大気中の総量に影響を与えないという考え方があるため。 | 3. バイオ燃料の原料となる植物の栽培は、熱帯雨林の開墾を抑制し、野生動物の保護に直接的に寄与する仕組みとなっているため。 | 4. バイオ燃料は石油などの化石燃料に比べて燃焼効率が極めて高く、二酸化炭素を全く排出せずに自動車を走行させることが可能であるため。 |
|--|---|---|--|

問2 かつてイギリスの植民地であったオーストラリアやニュージーランドの貿易相手国について述べた文章として、現在の状況を正しく説明しているものはどれですか。 (2017年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. かつての宗主国であるイギリスとの貿易が、現在も輸出額の過半数を占めている | 2. 地理的に近い日本や中国など、アジア諸国との貿易の割合が大幅に増加している | 3. ヨーロッパ連合（EU）への加盟を優先し、ヨーロッパ諸国との経済的結びつきを再強化している | 4. 北米自由貿易協定の影響を受け、アメリカ合衆国が最大の輸出相手国となっている |
|---|---|---|--|

問3 南アメリカ大陸の西側に広がる山岳地帯に位置するペルーのクスコのような都市では、標高が高い場所でも育つジャガイモの栽培や、リヤマ・アルパカの飼育が行われています。このような高山地域特有の生活が見られる山脈はどれですか。 (2021年 京都府公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|--------------|
| 1. アンデス山脈 | 2. アルプス山脈 | 3. ヒマラヤ山脈 | 4. ロッキーマウンテン |
|-----------|-----------|-----------|--------------|

問4 ある都市の気候統計において、7月前後の気温が低くなる時期（冬）に降水量が増え、1月前後の気温が高くなる時期（夏）に降水が極端に少なくなるという特徴が見られます。このような気候が見られる都市と、その名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2018年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------|-------------------------|-------------------------|---------------------------|
| 1. ブラジル北部のマナウス — 熱帯雨林気候 | 2. ベネズエラ北部のカラカス — サバナ気候 | 3. チリ中部のサンティアゴ — 地中海性気候 | 4. ブラジル南東部のサンパウロ — 温暖湿潤気候 |
|-------------------------|-------------------------|-------------------------|---------------------------|

問5 南アメリカ大陸にある二つの都市の統計を比較すると、一方は一年を通じて月平均気温が20度前後と温暖ですが、ボリビアのラパスは月平均気温が7度から11度の間で推移しており、非常に冷涼な気候を示しています。ラパスにおいて、低緯度（赤道に近い）であるにもかかわらずこのような気温になる理由と、この地域で古くから飼育されている家畜の組み合わせとして最も適切なものを選択してください。 (2017年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|--|
| 1. 標高が高いため気温が低くなり、リヤマやアルパカが飼育されている | 2. 周辺を流れる寒流の影響で気温が低くなり、羊やヤギが飼育されている | 3. 地中海性気候に属するため夏に乾燥して涼しく、牛や馬が飼育されている | 4. 高緯度（極地に近い）に位置するため気温が低くなり、トナカイが飼育されている |
|------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|--|

問6 オーストラリアの歴史において、1901年から1970年代まで続いた「白豪主義」が廃止され、多文化主義へと転換した背景として最も適切なものはどれですか。 (2024年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 金鉱の発見によるゴールドラッシュが発生し、労働力不足を解消するために中国系移民を強制的に帰化させたため。 | 2. 先住民であるアボリジニとの和解が進み、彼らの伝統的な狩猟生活を国家の基本理念に据えることが決定したため。 | 3. 地理的に近いアジア諸国との経済的な関係が深まり、人種差別的な政策が国家の不利益になると判断されたため。 | 4. アメリカ合衆国との同盟を強化するために、英語を公用語とする白人層のみを国民とする法律を廃止したため。 |
|---|---|--|---|

問7 オーストラリアが、かつての白人中心の移民政策を改めて「多文化社会」の形成へと大きく舵を切った背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 三重県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. アボリジニを特定の居留地に隔離し、ヨーロッパ系の伝統文化のみを保存して観光資源化するため。 | 2. 地理的に近いアジア諸国との経済的な結びつきを強め、多様な人材を受け入れることで国家の発展を図るため。 | 3. 労働力不足を解消するために、南アメリカからの日系移民のみを優先的に受け入れる制度を確立するため。 | 4. 特定の宗教を国教として定めることで、多民族が単一の価値観のもとに団結する体制を構築するため。 |
|--|---|---|---|

問8 オーストラリアにおいて、1901年の連邦国家成立後に進められ、1917年に大陸横断鉄道が全通するに至った歴史的背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 東京都公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 南アメリカ諸国との貿易競争に勝つため、内陸部の砂漠地帯を南北に貫く鉄道を最優先で整備した。 | 2. ゴールドラッシュによる人口急増を受け、インドの鉄道網を参考にした広域ネットワークを構築した。 | 3. イギリスからの完全な独立を宣言した際、すべての州の鉄道を一度に廃止し、自動車道路へ転換した。 | 4. 植民地時代は地域ごとにレールの幅が異なっていたが、国家の統合に伴い東西の州都を結ぶ必要が生じた。 |
|--|---|---|---|

問9 ニュージーランドでは、先住民であるマオリの文化を尊重し、多文化共生社会を築くための取り組みが行われています。その具体的な状況や背景として最も適切な説明はどれですか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 伝統的な食文化を輸出産業に育てるため、温暖な気候を利用した米の二期作を推奨している。 | 2. 羊毛に代わる新たな輸出物として、先住民の居住地域を中心に茶の栽培を大規模に進めている。 | 3. マオリ語を英語とともに公用語に定め、学校教育や放送などでも積極的に活用している。 | 4. ヨーロッパ諸国との連携を重視し、英語に代わってフランス語を公用語として導入している。 |
|---|--|---|---|

問10 南アメリカ大陸に位置し、国土の北部を緯度0度の線である赤道が通過している国として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2020年 京都府公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|--------|
| 1. イタリア | 2. エジプト | 3. ブラジル | 4. インド |
|---------|---------|---------|--------|

問11 南アメリカ大陸の西側に位置するアンデス山脈の高地において、人々が寒さや強い紫外線を防ぐために伝統的に利用してきた、家畜の毛を用いた衣服の主な原材料として正しいものはどれですか。 (2024年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|------------|-----------|-------------|
| 1. アルパカの毛 | 2. アザラシの毛皮 | 3. 麻（リネン） | 4. 綿花（コットン） |
|-----------|------------|-----------|-------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 植物は成長過程で二酸化炭素を吸収するため、燃焼時に二酸化炭素を排出しても大気中の総量に影響を与えないという考え方があるため。	植物を原料とするバイオ燃料は、燃焼時に二酸化炭素を排出しますが、その二酸化炭素は植物が成長する際の光合成によって吸収されたものです。このため、理論上は大気中の二酸化炭素を増やさないといみなされる「カーボンニュートラル」という考え方が、導入を後押しする大きな背景となっています。ただし、近年の農地拡大による森林伐採が、かえって環境破壊につながるとい課題も指摘されています。
問2	答え 2 地理的に近い日本や中国など、アジア諸国との貿易の割合が大幅に増加している	1950年代のオーストラリアやニュージーランドは、イギリス連邦の一員として宗主国であったイギリスへの輸出が約3割から6割を占めていました。しかし、その後のイギリスのEC（現在のEU）加盟やアジア諸国の経済成長、さらに地理的な近接性を重視する政策への転換に伴い、現在では日本、中国、東南アジア諸国など、アジア地域が最大の貿易相手となっています。
問3	答え 1 アンデス山脈	ペルーのクスコは標高約3400メートルに位置しており、アンデス山脈の代表的な高山都市です。人々は低地とは異なる寒冷な気候に適応するため、寒さに強い根菜類の栽培や、毛や荷物の運搬に役立つ動物の放牧を行うことで生活を営んできました。
問4	答え 3 チリ中部のサンティアゴー 地中海性気候	7月に気温が低くなるのは南半球に位置していることを示しています。気温が高い夏に乾燥し、気温が低い冬に雨が降るとい降水パターンは地中海性気候の典型的な特徴です。南アメリカ大陸において、この気候は大陸西岸の中緯度地域であるチリ中部に分布しており、サンティアゴはその代表的な都市です。
問5	答え 1 標高が高いため気温が低くなり、リヤマやアルパカが飼育されている	アンデス山脈に位置する都市は標高が高いため、低緯度であっても気温が上がらず、一年中涼しい高山気候となります。標高が100メートル上がるごとに気温は約0.6度下がるため、標高約3,600メートルに位置するラパスでは、平地よりも20度近く気温が低くなります。こうした冷涼な環境に適応した家畜として、古くからアンデス地域ではリヤマやアルパカが荷物の運搬や毛の採取のために飼育されてきました。トナカイは北極圏周辺の寒帯で飼育される動物であり、混同しないよう注意が必要です。
問6	答え 3 地理的に近いアジア諸国との経済的な関係が深まり、人種差別的な政策が国家の不利益になると判断されたため。	白豪主義は、もともとゴールドラッシュ期に流入した中国人労働者への反発などから始まった政策でした。しかし、第二次世界大戦後、オーストラリアにとってアジアは重要な貿易相手国となり、人種差別を維持することは経済・外交の両面でマイナスとなりました。そのため、1970年代に白豪主義を撤廃し、異なる文化背景を持つ人々が共生する社会を目指すようになりました。
問7	答え 2 地理的に近いアジア諸国との経済的な結びつきを強め、多様な人材を受け入れることで国家の発展を図るため。	オーストラリアはイギリスなどのヨーロッパ諸国と歴史的に深い繋がりがありましたが、地理的にはアジアに近いことから、近隣のアジア諸国との貿易や交流が不可欠となりました。そのため、人種による差別をなくし、多様な文化を持つ人々を広く受け入れることで、国際社会での競争力を高め、社会を活性化させる道を選びました。
問8	答え 4 植民地時代は地域ごとにレールの幅が異なっていたが、国家の統合に伴い東西の州都を結ぶ必要が生じた。	オーストラリアでは、各州が別々の植民地だった時代に独自の規格で鉄道を建設したため、州境で乗り換えや積み替えが必要という課題を抱えていました。1901年に連邦政府が誕生したことで、広大な大陸を一元的に管理する機運が高まり、レールの幅を統一して東西を一本の線路で結ぶ大陸横断鉄道が完成しました。
問9	答え 3 マオリ語を英語とともに公用語に定め、学校教育や放送などでも積極的に活用している。	ニュージーランドは、先住民マオリの権利を認めた「ワイタンギ条約」の精神に立ち返り、マオリ語を公用語の一つとして法的に認めています。ラグビーの代表チームが試合前に披露する「ハカ」もマオリの伝統文化です。ニュージーランドの気候は温帯で、米の二期作や大規模な茶の栽培には適しておらず、フランス語が公用語という事実もありません。
問10	答え 3 ブラジル	南アメリカ大陸の北部を横断する赤道が通る国はブラジルです。ブラジルは世界で5番目に広い国土面積を持ち、その広大な土地にはアマゾン川流域の熱帯雨林が広がっています。他の選択肢であるイタリア、インド、エジプトは、いずれも赤道が通過していない大陸に位置しています。
問11	答え 1 アルパカの毛	アンデス高地では標高が高く、酸素が薄いために日差しが非常に強く、地表に届く紫外線の量が多いという特徴があります。また、年間を通じて気温が低いため、現地で飼育されているアルパカの毛などを加工して、保温性が高く紫外線を遮断するのに適した衣服が作られてきました。これに対し、アザラシの毛皮は北極圏などの寒冷な海辺に住む人々が利用するものです。